



富士の国やまなし国体  
今君は氷上の風になる



氷闘！ かながわ・よこはま冬国体



# 第73回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H30.1.31 Vol. 5



## 1/30 少年男子「1点が遠い」 7・8位決定戦へ！

少年男子の準々決勝の相手は青森県。速い試合展開に圧倒され敗れたが、強いチームとの対戦を直接肌で感じることができ、福岡県チームにとって収穫の多い試合となった。

5～8位順位決定戦では、宮城県と対戦。体力的に厳しい2試合目だったが、粘りを見せた。GKのウィルソン嶺選手（KTC中央高等学校）は、相手の再三の攻撃に立ちはだかった。体を張って相手のパックを止めた。チャンスはあったが、なかなか、相手陣地のブルーラインを越えることができなかった。この試合も敗れ、明日の7・8位決定戦に臨むこととなった。勝負の世界は厳しい。この2試合を体験できた少年男子チームは、大きな意味のある試合となった。



【ゴールを守り続けたウィルソン嶺選手】



## 1/30 成年男子、一矢報いる貴重な1点！

成年男子の準々決勝の相手は、第1シード北海道。全く歯が立たない試合ではなかったが、北海道はシュートの精度も高く、何よりもパックの受け渡しに実にスムーズであった。両チームともに、ラフプレーがなく、ペナルティーが1つも無い好感の持てる試合であった。第3ピリオドに入り、矢野倫太郎選手（中央大学）が北海道ゴールに1点を叩き込んだ。最終的に、敗れはしたが、明日に繋がる1点をチーム全員で取った。試合後、県アイスホッケー連盟の秋山副会長は「選手・スタッフ皆よく頑張っている。明日のさらなる頑張りに期待したい。」と語った。勝てばとびうめ国体を超える快挙となる明日の順位決定戦（福井県戦）との大一番が楽しみである。



【必死にゴールを守る本県成年チーム】



【強豪北海道に一矢報いた本県成年チーム】